

技術（機械）名：

管理者／生産者連携を支援する営農情報管理プラットフォーム

概要

【対象ユーザ】

・複数の農業生産者の一元管理を実現したい大・中規模の農業法人向け

【システム概要】

・農業管理の現場で鍛えられた「運用できる」営農管理システムを提供します。

- (1) 生産者が「確実に」情報を登録するための仕組みを提供
- (2) 管理者が「正確に」情報を把握するための仕組みを提供
- (3) 生産者自身がITを現場で活用するための教育プログラムを提供

・確実な情報登録
・生産状況の把握
・生産コストの把握
・農業向けITシステム活用教育

生産現場

管理者

・現場の情報登録状況の監視
・生産状況の把握
・生産コストの把握

※本プラットフォームは【農林水産業みらい基金】の取り組みの中で農業法人と連携、構築したITプラットフォームであり、2018年6月時点で、20以上の生産者で導入・運用中の仕組みとなっております。

【参考】農林水産業みらい基金／有限会社 トップリバー

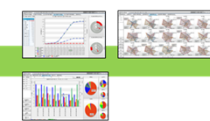
<http://www.miraikikin.org/activities/agriculture/topriver.html>

会社名：株式会社日立ソリューションズ東日本
担当部署：ビジネスイノベーション推進センター
連絡先：070-6499-0889(担当 大江)

写真、図表等

【運用イメージ】

【生産現場】

【作業実績登録】
(モバイル/PC)【クラウド環境】
蓄積・管理【各種テンプレート】
見える化

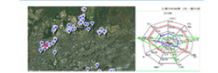
営農指標として見える化

【管理者/生産者】

トレーサビリティ情報



農地管理



生産者評価



進捗状況管理



JGAP対応

【既存データ】
様々な形式のデータ取込

Excel/CSVデータ

販売・生産計画情報
土地、資材、作業情報 等

【公開・共有・活用】

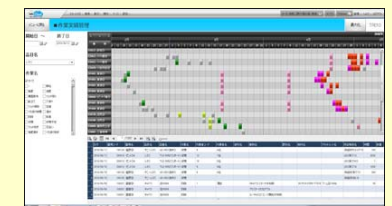
必要データを関係者・生産者間で
公開・共有し、営農効率化に活用

【各種テンプレート（例）】

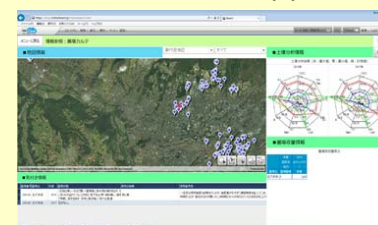
モバイル／PCからの情報登録



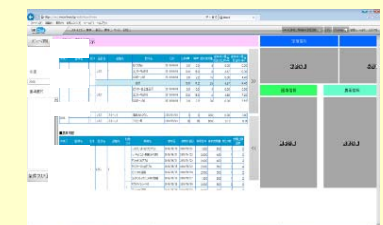
作業進捗管理



地図上での圃場管理



JGAP審査時に必要な情報の表示



効果

□ 農業現場からのスムーズな情報発信を支援します。

- ・農業現場で鍛えられた生産者の負担が少ない情報登録システムを提供。
- ・生産者の入力状況を把握・フォロー可能な仕組みを提供。

□ 登録した情報の有効活用を支援します。

- ・入力した各種情報を活用するための100を超えるテンプレート群を提供。
- ・進捗管理テンプレート、生産性向上テンプレート、品質向上テンプレート等、様々な観点から、分析・活用が可能なテンプレートを提供。
- ・各種テンプレートは顧客毎にカスタマイズ・微調整が可能。

□ クラウドサービスによる、短期間・低コストでの導入を実現します。

- ・検討～導入まで最短で3か月。初期導入コスト30万円～、月額3万円～の導入が可能。

□ IT活用教育プログラムの提供により、生産者のITスキル向上を支援します。

- ・ITベンダーに頼らない、生産者自身による自立したIT活用の実現を支援。